

CSR用語集

CSR

Corporate Social Responsibilityの略。企業が利益追求だけでなく、株主・お客様・お取引先・従業員等の利害関係者(ステークホルダー)に配慮しながら果たすべき責任のこと。

コーポレート・ガバナンス

企業統治。企業が、株主・お客様・お取引先・従業員等をはじめとするさまざまな利害関係者(ステークホルダー)の立場を踏まえたうえで、企業の不正行為の防止、適正な企業運営の維持・確保を実現する仕組み。

ISO26000

ISO(国際標準化機構)が2010年11月に発行した社会的責任に関する国際規格。国や地域、組織規模に関係なく、あらゆる組織で社会的責任を実践し、持続的発展へ貢献をしていくための手引き。

ワークライフバランス

「仕事と生活の調和」を指す。働きながら私生活も充実できるような雇用環境を整え、調和の取れたライフスタイルを目指すという概念。

サステナビリティ

社会と地球環境全般における「持続可能性」。企業のサステナビリティは、利益を上げるだけでなく、将来にわたり環境や社会的側面においても貢献し続けていくことを指す。

コンプライアンス

法律や規則等を順守し、倫理を尊重すること。企業における相次ぐ不祥事をきっかけに重視されるようになった概念で、日本語では「法令順守」と訳されることが多い。

ダイバーシティ

多様性。企業が、人種、性別、年齢、信仰等にこだわらずに多様な人材を積極的に活用しようという考え方。

環境マネジメントシステム

企業等が、自主的に環境保全に関する取り組みを進める際に、環境方針や目標を自ら設定し、達成に向けて取り組んでいく仕組み。

ISO14001

環境マネジメントシステムを構築する際を守るべき事項を定めた規格。「計画」「実施」「点検」「見直し」のPDCAサイクルを繰り返すことにより、環境マネジメントシステムを継続的に改善すること等がISO14001の特徴である。

フェアトレード

開発途上国で生産されたコーヒーやカカオ等の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することで、生産者の生活向上を目指す貿易の仕組み。

地球温暖化

地球の平均気温が長期的に上昇する現象。産業活動が活発になり、CO₂等の温室効果ガスの排出量が増えたことが原因とされている。今後、地球温暖化に伴う海水温の上昇による氷河等の融解によって、海面がさらに上昇すると予測されている。

循環型社会

廃棄物の発生を抑制し、廃棄物の中でも有益なものは資源として循環利用し、適正な廃棄物の処理を行うことで、環境負荷の低減を図る仕組み。大量生産・大量消費・大量廃棄の時代から、廃棄物ゼロを目指す社会づくり。

生物多様性

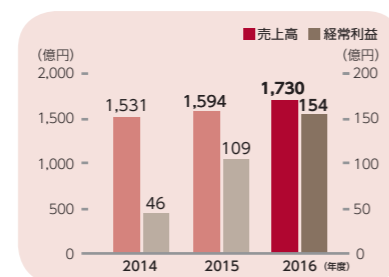
生態系、または地球上に多様な生物が存在していること。「生物の多様性に関する条約」では、「生態系の多様性」「種の多様性」「遺伝子の多様性」という3つのレベルで多様性があるとされている。

森永製菓株式会社の概要

◆会社概要 (2017年3月31日現在)

| | |
|---------|---|
| 社名 | 森永製菓株式会社(MORINAGA & CO., LTD.) |
| 代表者 | 代表取締役社長 新井 徹 |
| 本社所在地 | 〒108-8403 東京都港区芝5-33-1 |
| 創業 | 1899(明治32)年8月15日 森永西洋菓子製造所 創業 |
| 設立 | 1910(明治43)年2月23日 |
| 資本金 | 186億1千万円 |
| 事業内容 | 菓子(キャラメル・ビスケット・チョコレート等)、食品(ココア・ケーキミックス等)、冷菓(アイスクリーム等)、健康(ゼリー飲料等)の製造、仕入れ及び販売 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 |
| 従業員数 | 1,327名(平均年齢41.1歳) |

◆業績推移(個別)



◆事業紹介

菓子食品事業



菓子食品事業は、「ミルクキャラメル」「森永ビスケット」「チョコボール」「ダース」「ハイチュウ」「森永ココア」「ホットケーキミックス」等、主力のロングセラーブランドを軸に新たなおいしさと食シーンを創造しています。同時に、「ベイクド技術」等新しい味わいの創出と、健康機能を兼ね備えた高カカオチョコレートや「甘酒」等、「健康」の切り口を取り入れた商品開発と情報発信も進めています。人々の健康で豊かな毎日に貢献し、笑顔とコミュニケーションの輪をひろげる取り組みに力を入れています。

冷菓事業



冷菓事業は、業界トップクラス商品である「チョコモナカジャンボ」、独自の技術をベースとした「アイスボックス」、森永製菓らしさを追求した主力商品の数々、また菓子食品技術を有しているからこそその強みを生かした新商品等、それぞれの商品をとってお客様へ価値と感動を提供しています。

健康事業



健康事業は成長分野の一つとして新たな商品と価値創造に取り組んでいます。スポーツ科学のからだづくりに基づいた「ウイダー」ブランド、健康維持や美容面をサポートする健康補助食品の通販事業「天使の健康」ブランドの展開と、生活習慣病予防やアンチエイジング等の機能性素材の研究を行っています。

◆ウイダー

スポーツ科学の先駆者「米國ウイダー社」と業務提携し、その理論に基づきアスリートの身体能力・精神力をトレーニング・栄養指導・サプリメントで支え、そこで得られたノウハウを不規則な生活やストレスにさらされがちな全ての人々に向けて提供しています。

◆通販事業「天使の健康」

「天使の健康」は高齢化やストレス社会を背景に、幅広い世代に向けたすこやかな毎日をサポートする健康補助食品を開発・販売するブランドです。菓子食品技術を生かしたおいしく継続しやすい独自性のある健康補助食品を通信販売により、お客様一人ひとりに直接お届けしています。

海外事業



海外事業は、商品輸出や技術提携により優れた品質と確かなおいしさの日本ブランド「MORINAGA」として各国に進出しています。また、森永製菓グループとして米・インドネシア・中国・台湾に販売及び製造拠点を構築し「ハイチュウ(HI-CHEW)」を中心に新たな市場の獲得と販売網拡充に取り組み、海外での事業拡大を進めています。